

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジョブサウ18千葉教室		公表日		2026/3/27	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	✓			現段階では行動観察にとどまる事が多いが、多様な直接支援のニーズが出てきた際には、教員の工夫等見直していきたい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	✓			サービス利用希望者が増えた場合に対応出来るよう、増員も検討している。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	✓		事業所内会議を定期的に開催している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		保護者向け評価実施後に改善点の確認を行い、より良いサービス提供ができるよう取り組んでいる。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		気になる点は都度話し合いを行い、コミュニケーションをとりながら対応している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		✓		今後の検討課題とする。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	✓		オンラインを活用した法人内研修の開催を定期的に実施している。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	✓		サービス等利用計画の確認とともに、ツールを使ってアセスメントを取る事で、支援すべき内容を話し合い計画作成を実施している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓		児童発達支援管理責任者に加えて、療育に携わる他職員からの意見を吸い上げ、計画作成に反映している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	✓		支援開始前に必ず事前に訪問し、意向や支援方針に関する打合せを実施している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓		計画の閲覧、内容確認を徹底している。また、定期的なミーティングでお子さまの状況を確認しあっている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	✓		提供の都度、標準化されたツールで支援記録を作成している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	✓		お子さまの特性に応じて、行動観察、環境調整、関わり方の提案、集団適応に向けた支援等、具体的な支援内容を個別に設定している。また、訪問先の状況やニーズに応じて、実施内容を適宜見直している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓		計画の閲覧、内容確認を徹底している。また、定期的なミーティングでお子さまの状況を確認しあっている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	✓		毎日サービス提供前に打合せを実施している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓		毎日サービス提供終了後に終礼を実施し、振り返りやお子さまの様子を共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	✓		サービス開始前に事前に訪問し、意向や支援方針をすり合わせた上で支援を開始している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	✓		毎回記録を作成し、記録を基に支援の効果検証を行い、課題の整理や支援方法の見直しにつなげている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓		半年毎に面談を実施し、計画内容の見直しを行っている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓		サービス担当者会議開催の機会があれば必ず参加、主に児童発達支援管理責任者が出席できるようにしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓		学校、園とは常時連携して支援をおこなっている。	医療機関や学校との連携は不十分と認識しているため、さらに地域との連携を目指した運営を心がけていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓		訪問先施設に就学前の支援の経緯やアセスメントを共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	✓			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	✓		自治体主催の研修に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		✓		まだ開催実績がない。次年度に向けた課題とする。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		契約時に説明の時間をとっている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	✓		支援開始前に訪問し、意向や支援方針に関する打合せを実施している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓		支援開始前にお子さまの意向も確認し、訪問支援員が学校や園に行くことに同意を頂いてから支援を開始している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	✓			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	✓		お申し出を受けた際は迅速に対応できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		✓		まだ開催実績がない。次年度に向けた課題とする。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓		お申し出を受けた際は迅速に対応できるようにしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		✓		保護者との連絡をより簡便にする為、システム導入を予定している。現在紙媒体で発行している支援記録もスマートフォンなどで気軽に確認して頂けるよう体制を整備中。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓		文書は鍵付き書庫で管理している他、研修を通じた意識づけを行っている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓		口頭に加えて文書を提示したり、ご家族に協力を得て事前にリマインドの電話連絡をしたりして、工夫している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	✓		訪問後のカンファレンスの際に先生方と情報共有や相談に応じられる時間を設けている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		✓		訪問先施設の都合で十分に時間が取れないケースもある。先生方のご負担のない実施方法が課題である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	✓		支援実施ごとに書面で共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓		文書は鍵付き書庫で管理している。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	✓		お子さまへの直接的な支援に加え、関わり方や環境設定について具体的な助言を行い、学級運営や集団活動が円滑に進むよう支援している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓		年間で研修・訓練の計画を組み、実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓		年間で研修・訓練の計画を組み、実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓		指定書式を使用し、共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		マニュアルの見直し、整備、委員会を通しての研修を実施し発生防止を徹底している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	✓		マニュアルの見直し、整備、委員会を通しての研修を実施し発生防止を徹底している。	